



# 西播磨

相生市・たつの市・赤穂市・中央市・太子町・上郡町・佐用町

西播磨地域ビジョン情報誌

# きらきら通信

NISHIHARIMA KIRA KIRA TSUUSHIN

2018 March  
No.36



高校生防災サミット

(平成 29 年 12 月 10 日開催)

委員長メッセージ	1
推進チーム2年間の記録	1~4
成果物紹介	5
高校生防災サミットまとめ	5~6
第17回出る杭大会紹介・編集後記	7



発行 西播磨地域ビジョン委員会





第8期  
西播磨地域ビジョン委員会  
委員長 香山 美穂



## 委員長メッセージ



第8期西播磨地域ビジョン委員会は、平成28年4月より4つの夢と目標像を基本に、7つの推進チームに分かれて、相互に協力しながら活動に取り組んで参りました。

今期の主な活動としては、2回行われた夢会議で「兵庫 2030年の展望」について井戸知事、金澤副知事、西播磨地域の県議会議員、各市町の代表者の方々にご臨席いただき、高校生を含めた地域の皆さまと西播磨の未来像について意見交換を行いました。

平成28年度は宍粟市森林セラピー応援隊養成講座に21名のビジョン委員が受講して西播磨の素晴らしい自然のPR活動に貢献することができました。

平成29年12月の「生活安全推進チーム」による「西播磨地域 高校生防災サミット」には、他のチームからも参加協力があり、高校生の防災への取り組みや体験報告等を通して地域の繋がりの大切さや防災、減災活動について皆で考える貴重な機会となりました。

全ての推進チーム活動を含めると数えきれませんが、地域においてこのように真剣に、かつ楽しみながら活動を行っているビジョン委員会の事を多くの方々に知っていただき、この取り組みの輪が更に広がり、住民が中心となった地域づくりに繋がっていくことを願っております。

私自身、西播磨地域ビジョン委員会に3期6年間に渡り在籍し、多くの方々よりご協力いただき充実した活動ができたことに心より感謝申し上げます。



## 推進チーム2年間の記録



### 健やか子ども応援チーム

私たちのチームは少人数ですが、地域のボランティアの協力を得て、論語の素読をはじめ、茶道、昔ながらの遊び、絵本の読み聞かせなど、楽しく活動しております。

論語や孝経は、人間として身につける術を説いた学びです。両親から頂いた命の大切さを学ぶことは、幼児の時にこそ大事です。子どもたちもしっかりと答えてくれるようになりました。また、絵本や昔遊びなど、子どもたちは目を輝かせて楽しんでおります。



茶道も最近では、ご挨拶やお運びも上達し、順番を待つことで、耐えることや思いやる心も育ってきました。当初はお茶をいただけなかった子どもも、今は美味しいと言ってくれます。とても可愛く私たちも嬉しいです。

最後に、園児一人ひとりに西播磨地域ビジョン委員会より、論語は「修了証書」、茶道は「頑張ったで賞」が授与され、初めての大きなご褒美を手にと、とても嬉しそうでした。園長先生、担任の先生方と共に、今年一年大きく成長した姿を見て、喜びと感謝で終わらせて頂きました。

広報部員 井上 鈴子

## 出る杭応援隊

私たち「出る杭応援隊」は、この2年間 西播磨地域ビジョンのシンボルプロジェクトである「出る杭大会」を推進するため、西播磨元気プロジェクトのメンバーと共に活動してきました。

月1回の西播磨元気プロジェクト全体会に参加し、チラシやポスター作り、誘客アイディア等について話し合い、協賛金依頼やPR活動にも取り組んできました。会場となる芝生広場の鹿のフン拾い、また大会当日の運営スタッフとしてブース展示やステージのお手伝いをし、元気プロジェクトメンバーと協力して大会を盛り上げることができました。

大会後は、「出る杭交流会」にも参加し、出る杭大賞を受賞した団体との交流や意見交換を行った他、「たつの赤とんぼ米研究会」「鞍居地区ふるさと村づくり協議会」「鷹巣活性化委員会」「坂越のまち並みを創る会」等の団体を訪問し、交流できたこともとても有意義でした。



出る杭大会は、毎年4月29日に播磨科学公園都市光都プラザ前芝生広場で開催されます。「第17回出る杭大会」もチーム一丸となって応援していきます。年々参加団体も増え、地域活性化に取り組む人々が増えてきました。是非「出る杭大会」にお越しください。一緒に元気な西播磨づくりを応援しましょう！

チーム副リーダー 三輪 佳世

## 生活安全推進チーム

第8期は、「高齢者が安心して暮らせる地域づくり」と「高校生の考える地域防災・減災活動」の2つのテーマを同時に進める「二刀流作戦」で活動しました。

チームメンバー全員で「活動計画」を立案し、毎月チーム会議で進捗を確認しながら進めました。その結果、チーム会議21回、地域活動74回と精力的な活動を展開しました。内容は都度、facebookに掲載し情報発信しました。

特に、高校生が地域防災について語り合う場として、西播磨地域で初めて「西播磨地域の高校生防災サミット」を開催し、参加頂いた高校生、学校関係者、防災関係、行政機関の皆さんから高い評価を頂きました。双方とも内容を冊子にまとめ、地域の高校や関係者の皆さんに配布します。「高校生防災サミット」については、DVD（動画版）も作成し配布します。2年間、各地域団体、学校関係、防災関係者の皆さんお世話になりました。



「高校生防災サミット」のグループ討議発表で高校生から「少子高齢化が進む西播磨地域では若者が積極的に地域の高齢者を支援したい」という力強い意見が伺えた事は大きな収穫だったと感じています。

チームリーダー 田野本 満男



## 森からの命をいただく！チーム

「私たちは森によって生かされている。豊かな森や自然を大切にすることは私たちの命を護る事である。」というテーマで2年間様々な活動を行って参りました。

平成28年度の最初の活動は、相生市金ヶ崎海岸遊歩道の清掃活動からスタートしました。そして、県下で初めてオープンした宍粟市森林セラピー基地の応援隊として、(公財)しそ森林王国観光協会の協力を得て、6回の講座(4回の座学・2回の体験学習)に21名が受講。「森林セラピー応援隊」として認定されました。応援隊には森林の持つセラピー効果を広くPRしていく役目が与えられました。また、メンバーの丸井利春さんによる環境学習講座「森林は活きている」を2回開催し、地球の生き立ちや森林資源の大切さを、小学生と共に学びました。

平成29年度には、宍粟市千種町のたかのす東小学校で、山崎植物同好会と合同の一泊研修会を行い、自然豊かな鷹巣地域の植物の勉強と観察を行いました。赤穂市の雄鷹台山では

美しいドウダンツツジに囲まれながら見る赤穂市・瀬戸内の景色に感動しました。

以後、自然観察ウォーキングを西播磨の各地で毎月開催し、美しい自然を学びながら、護るべき大切なものを確認する事が出来ました。

広報部員 西本 諭



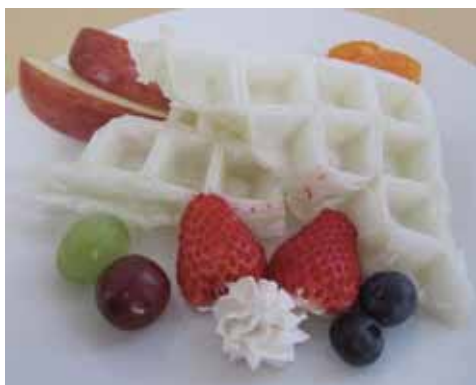
雄鷹台山からの赤穂の風景

## 若者視点からの食材推進！チーム

本チームは、西播磨地域の食材の発掘や加工品・料理の開発とPRについて、若者の発想や感覚を大切にしながら活動してきました。

これまでに、西播磨の食材を使ったおにぎりや炊き込みご飯、モチとワッフルを組み合わせたモッフル、フルーツ大福など様々なものを試作しました。

活用した食材の中で特に注目したのは、地域でバラエティに富んだ甘い甘い「フルーツ」！2年間の活動の集大成として「西播磨フルーツマップ」を作成しました。相生市のメロン、たつの市のうめ、赤穂市のみかん、宍粟市のりんご、太子町のいちじく、上郡町のぶどう、佐用町のフルーツトマトについて、おすすめのスイーツ活用術とともに紹介しています。



このマップを手にとりいただき西播磨のフルーツを是非ご賞味ください！

広報部員 前平 航司

# 西播磨ええとこ発見！チーム

日本海側から、太平洋に連なる瀬戸内海まで、我がふるさと兵庫県は列島を縦断する地形に恵まれ、中でも西播磨地区は、中国山地を背にした山間部である宍粟市、佐用町と、瀬戸内海に面した沿岸部である相生市、赤穂市と、それを揖保川や千種川で繋いでいる平野部である太子町、上郡町、沿岸部と平野部を繋いでいるたつの市で形成されている。



我がチームは、山間部では陰陽師の里（佐用町江川地域）。沿岸部では、北前船寄港地坂越浦（赤穂市）。平野部では、童謡「赤とんぼ」のふるさと、明かりの郷たつの（たつの市）。南北を繋ぐ川の水運では「高瀬舟」等、それぞれの地域から、「ええとこ」を発見しました。これらは、別途活動記録として成果物でまとめていますので、ご覧ください。

広報部員 永富 元

## 西播磨交流たのしみ発見隊

～2年間の活動を振り返って～

チーム活動のコンセプトは、『自分たちが楽しむ』ということでした。活動の内容は、ふるさとを復活させようとする地域・若者（高校生）・西播磨の伝統工芸・チームメンバーが取り組んでいる事など分野はいろいろでしたが、共通しているのは頑張っている事やその姿でした。

また、他のチームとの合同街歩き、高校生防災サミットへの協力と、中身の濃い印象深い2年間でした。



この2年間限定のチームを終えても、交流した地域と経験を大切にしていこうと思います。チームのメンバーとのご縁も大切にしていきたいです。

活動＝たのしく交流です。



チームリーダー 栗蔭 久美



## 生活安全 推進チーム

ますます進む高齢者等の孤立、無縁化に着目し、「高齢者が安心して暮らせる地域づくり」を実践している団体を取材しました。



## 森からの命を いただく！チーム

各市町の自然を体感した自然観察ウォーキングをはじめ、環境学習講座、森林セラピー応援隊の活動について紹介しています。



# 成果物紹介

## 若者視点からの 食材推進！チーム

西播磨のバラエティーに富んだ果物を集め紹介し、フルーツ大福も作りました。各地域の果物をお楽しみください。



## 西播磨ええとこ 発見！チーム

2年間を通して活動した、5か所の西播磨の「ええとこ」について詳しく紹介しています。



# 高校生防災サミットを開催しました

日時：平成29年12月10日（日）10：00～15：00  
 場所：西播磨文化会館（たつの市）  
 主催：西播磨地域ビジョン委員会・兵庫県西播磨県民局

### 第1部

オープニング・防災体験等の報告

昼食（非常食試食体験）

### 第2部

ワークショップ

### 第3部

発表・サミット宣言・講評



# 高校生防災サミット まとめ

西播磨地域の公立高校を対象に「高校生防災サミット」を12月10日（日）10時から県立西播磨文化会館（たつの市）において開催しました。休日にも関わらず管内の9高校から62名の高校生と教職員、防災関連団体者、地域の皆さん、ビジョン委員を含め約150名の方に参加頂きました。

東元西播磨県民局長の開会挨拶に続き、龍野高校の木村朱里さんを議長に選出しプログラムに沿って進行しました。

第1部では、各高校の防災体験報告を行い、各高校の特色あるプレゼンや体験談を聞きました。昼食は、各高校をシャッフルしてグループ編成を行い、アイスブレイクも兼ねた「非常食試食体験」を行いました。非常食は、たつの市から提供して頂いたアルファ化米（ドライカレー味）と兵庫県手延素麺協同組合から提供して頂いた素麺を、西播磨地域ビジョン委員会の仲間である「若者視点からの食材推進！チーム」と「西播磨交流たのしみ発見隊」の有志が、被災時に手に入りやすい西播磨の保存食材を選び「西播磨防災にゆうめん」として美味しく調理して提供しました。休憩時間を利用して赤穂防災士の会の皆さんによる防災活動展示や段ボールベッド、新聞紙で作るスリッパ等の実演も行って頂きました。会場には西播磨全12校が持ち寄った各高校の防災活動パネルや学校紹介も展示され、防災意識の向上に役立ちました。

第2部では

- ① 一番印象に残った事は？
- ② これから学び、考えることは？
- ③ これから行うことは？

の3点を軸に各グループで討議テーマを決め、ワークショップを行いました。ワークショップの中では、他校の防災活動や被災地支援、高齢化が進む地域の中で若者（高校生）が果たす役割など幅広く意見交換が行われました。



第3部では、来賓としてご臨席頂いた西播磨地域の県議会議員、各市町の代表者、消防関係代表者をご紹介させて頂いた後、第2部のワークショップで話し合った内容を発表して頂きました。その内容を踏まえて「高校生防災サミット宣言」を木村議長が力強く宣言しました。最後に北本副県民局長から総括コメントを頂き閉会しました。サミットの内容をとりまとめ、冊子とDVDを作成しました。

この「高校生防災サミット」を契機に、防災意識が参加した高校生から家族や仲間に伝わり、地域社会と若者世代の連携が「安全安心な社会」を築く一助になれば幸いです。

末筆ながら、今回の企画に対し、ご支援頂きました、たつの市、兵庫県手延素麺協同組合、太子高校写真部、龍野高校放送部、赤穂防災士の会の皆さま有難うございました。又、前日の会場設営、当日の会場、調理場、駐車場担当を快く引き受けて頂きましたビジョン委員会の仲間の皆さまご協力有難うございました。厚くお礼申し上げます。



副委員長・チームリーダー 田野本 満男



# 第17回 出る杭大会開催



4月29日(祝・日)播磨科学公園都市芝生広場で第17回「出る杭大会」が開催されます。出る杭大会とは、打たれてもへこたれないで頑張ろう！という前向きな気持ちを込めて名付けた大会です。地域を元気にしようと取り組んでいる団体や個人に活動発表の場を設け、活動への理解・交流を通し、繋がり合い絆を深めることを願い開催しています。

会場では、大学の先生をはじめとする審査員が活動発表内容を評価し、出る杭大賞・夢づくり賞など、賞状と副賞を贈呈しています。

当初、参加は西播磨地域に限られていましたが、近年は他県民局管内からの参加が増えています。

今年の司会進行は赤穂高校放送部で、龍野北・県立大附属・太子高校などが展示やボランティアとして出る杭大会へ若さとエネルギーと未来を加えてくれます。

兵庫県政150周年記念の本大会では、神戸新聞の協力を得て、小学生高学年10組のちびっこ記者がタブレットを使い、出る杭大会を取材・写真撮影・制作、「出る杭大会新聞」として印刷し、会場内に掲示するという催しを企画しています。



過疎化が進む西播磨に「出る杭大会」で若い息吹を吹き込みたいと切に願っています。

皆さんのお越しをお待ちしています。

西播磨元気プロジェクト代表 森 正枝

## 編集後記



今号では昨年末に行われた「高校生防災サミット」の活動報告、各チームの活動報告及び成果物、「出る杭大会」の紹介を掲載しております。第8期の総まとめとなりますので、しっかりとご覧いただけましたら有り難く存じます。

また多くのチームで、2年間の活動の成果物を冊子として発行しております。きらきら通信とともにどこかで見かけたら手に取って、私たちの活動をご覧いただき、機会がありましたら今後ビジョン委員としてご参加いただければと思います。

今号も各チームから来ていただいた広報部員の皆様、事務局のお陰を持ちまして無事発行することが出来ました。誠にありがとうございました。

広報部会では第9期でも「きらきら通信」を通して西播磨地域ビジョン委員会の活動をお伝えしてまいりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

広報部会長 中村 友法



西播磨地域ビジョン委員会事務局  
(西播磨県民局県民活動支援課内)  
〒678-1205 赤穂郡上郡町光都2-25  
【TEL】0791-58-2128  
【FAX】0791-58-0523  
【HP・FB】QRコードかHPで検索♪

西播磨地域ビジョン委員会

検索

ネットde応援隊

検索



☆ 兵庫県HP ☆



☆ facebook ☆

